

Ⅰ学年通信

Shining

～学ぶ、育む、つながる～

2026年(令和8年)
5月26日(火)
福山市立済美中学校
第Ⅰ学年 No. 3
学年主任 中谷 夏子

体育大会を終えて

体育大会本番は朝から晴天に恵まれとてもよい気候の中で行うことができました。声を出して応援したり、協力してボールを運んだり、様々な場面で素敵なⅠ年生の姿をたくさんみることができました。「一生懸命」は『楽しい』『素晴らしい』!!
今回深めた絆をさらに深めて、素敵な学年にしていきましょう。



【6月の予定】



1日(木)参観日
8日(月)避難訓練
9日(火)期末テスト発表
12日(金)教育実習終了
15日(月)一斉研修

22日(月)校区研修
23日(火)～25(木)期末テスト
25日(木)各種委員会
27日(土)漢字検定
29日(月)生徒集会

◆保護者の皆様へ

平素より、本校へのご理解ご協力いただき、ありがとうございます。初めての体育大会ではお子様はどのような様子でしたか。連日の練習でくたくたになってしまうこともあったとは思いますが、練習から本番まで先輩方の姿をみて一生懸命に取り組んでいました。入学して2か月が過ぎようとしております。6月には初めての定期試験が待っています。ご家庭で何か心配なことがありましたら、学校に連絡ください。



体育大会の振り返りから



～あたたかい環境がつかれる～

体育大会を通して、僕は「人と協力する大切さ」と「一人一人を大切にする力」がつかれました。

「人と協力する力」は、例えば応援リーダー。他学年の人と関わることのできる大切なものでした。先輩たちの背中を見て、僕も頑張ろうと勇気づけてもらうことが多々ありました。そんな中で人と協力して一つの目標に向かって頑張るのはとても良いことだなと思いました。

「一人一人を大切にする」というのは、体育大会は先生がつくるのではなく、生徒全員が合わさってできることだからです。この行事を通して一人一人を尊重するのは全員ができるとあたたかい環境がつかれる(失敗しても支えてあげるなど)と思いました。

～先輩達をお手本に～

初めての体育大会で、いろいろなことを思いました。

まず、先輩達を尊敬する気持ちです。切り替える、メリハリができていたところがすごいと思いました。小学校と中学校は違うと思いました。考え方、言葉、行動のどれも違うと感じました。人の気持ちを考えて発言すること、他の人に迷惑じゃなくて、役立つ行動をとることは、小学生にとっては難しいと思いますが、中学生の先輩たちはできていました。これからの中学校生活は、先輩達をお手本に頑張っていきたいです。

～一人一人のがんばりの大切さ～

体育大会を通して、「みんなと協力する大切さ」を学びました。みんなと協力しないと学年種目では勝てないし、みんなと応援したり、全力で走ったりしたから、体育大会が盛り上がったし、楽しかったといえる、中学校初めての行事になりました。

もう一つは、「一人一人のがんばりの大切さ」です。応援リーダーが先にダンスを覚えてくれたから、みんな踊れたし、団長や3年生がいたから、団でまとまることができたし、委員会の人がいたから、得点もわかって、競技することができたからです。

～がんばったからこそその達成感～

体育大会で、みんなで協力して成し遂げるということを学びました。ダンス、リレー、学年種目、どれもとても楽しかったです。体育大会練習や放課後練習をがんばってきたからこそその達成感を味わうことができました。負けてくやしいという気持ちもありましたが、次、他のことでがんばりたいという気持ちを強めることにつながりました。